

# とよおか

一九九一・豊丘村勢要覧

I love Toyooka

豊丘



# 愛すべき郷土

伊那山脈を背おい、  
天竜川を見おろす河岸段丘の  
雄大な地形……好きです。  
四季折々に彩りを変える自然。  
小鳥のさえずりや  
溪流の水音……好きです。

先人達が、汗を流し築いてくれた村。  
忘れずに、守り育てたい。

“どよおか”私たちの村、愛すべき郷土。



# Contents

愛すべき郷土	1
発刊によせて	2
新しい鼓動 それは未来への架け橋	4
Sky high 空から見た わが村	6
緑と清流をこよなく愛す	8
史跡探訪	10
豊丘を味わう	12
心ゆたかに文化の香り高く	14
とよおかガイドマップ	16
Watching	18
特集・若い力で村づくり	20
・農業「多角的で柔軟な農業経営」	
・工業・商業「地の利を生かした産業振興」	
思いやりの心 希望のある村	24
住みよい村づくりのために	26
明日へ	28

## 村民憲章

- 緑と清流を、こよなく愛する村にしましょう。
- 教育を重んじ、文化のかおり高い、平和な村にしましょう。
- 産業をおこし、若い力を育て、活力ある村にしましょう。
- 思いやりの心をもち、希望のある、福祉の村にしましょう。
- あいさつをかわし、明るい家庭をつくり、住みよい村にしましょう。

昭和60年11月9日制定



三年ぶりの村政要覧をお届けします。  
立村以来、先人のご努力により豊丘村の基盤も年とともに整つてまいりましたが、本誌の企画に臨み諸データーは厳正に、体裁は親しみ易く心掛けました。  
村づくりの指標は、村民憲章に掲げる物心等しく豊かさを実感できる郷土の創生であり、安易な開発が引き起こす清流の汚染、モラルに欠けた人々が置き去るゴミの被害など多くの例を他山の石と心しております。

只今進捗中の下水道事業は、清潔で快適な生活をもたらします。産業経済の振興は勿論、道路や施設の整備に併せ、教育文化の充実も図らなければなりません。そして豊かな自然に培われた隣人助け合いの良俗が、村内につかりと根を張つてほしいと念願しております。

二十一世紀に向けて、誇らしい郷土、生き活きた我が村と共に目指す皆さんの創意の糧として、この小冊子がお役に立てばこの上なき歓びであります。

平成四年二月

豊丘村長 松村利治



21世紀に向け、  
誇らしい村づくり。

■発刊によせて





この里に生まれ、  
育ちゆく子供たち。  
彼らの踏み出す一歩、一歩は  
未来といふ  
未知なる時を刻む鼓動。

若い力が

TOYOOKAの未来を拓く。

新しい鼓動、それは未来への架け橋。

# 空から見た わが村

水田・林地区の河野地区

下流より天竜川沿いを望む

田村商店街・夜場周辺・豊丘村の中心部

龍東一貫道路の建設が進む伴野地区

田村・林地区の河野地区

いつも通る道、  
いつも見慣れた風景も、  
空から見れば、新しい発見がある。  
これが、ふるさとの素顔。  
道路や住宅、公園の建設が進む大地。  
ここに、  
私たちが住み、働き、学び、集う。  
大地から、  
生活を刻む音がわきあがる。  
この地にあふれるエネルギーは、  
新しい時代への鼓動。  
21世紀へ向かい、  
より豊かな村づくりが  
着実に進んでいる。

sky high

緑と清流を  
こよなへ愛す。

遙かに南アルプスをあおぎ見る伊那山脈の裾野。

絶句

えられた清流を集め、

いくすしもの川が流れ下りやかで天竜の流れに巻々く

卷之三

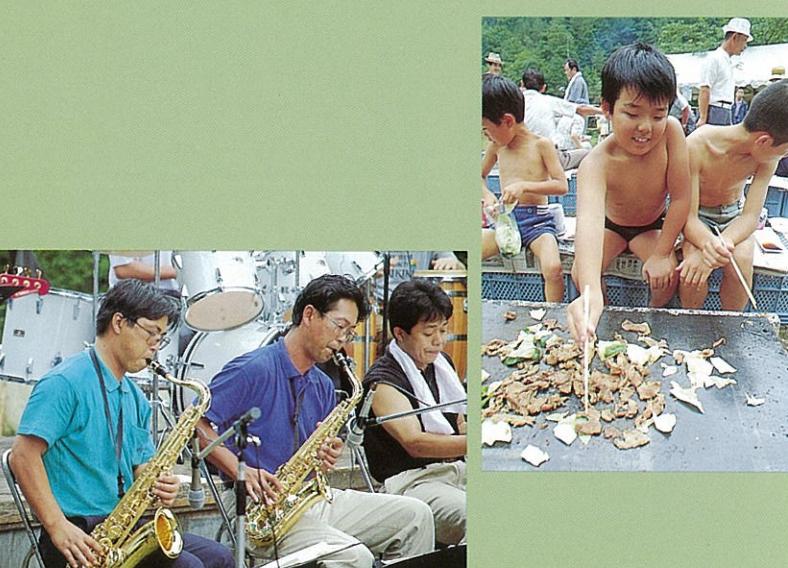
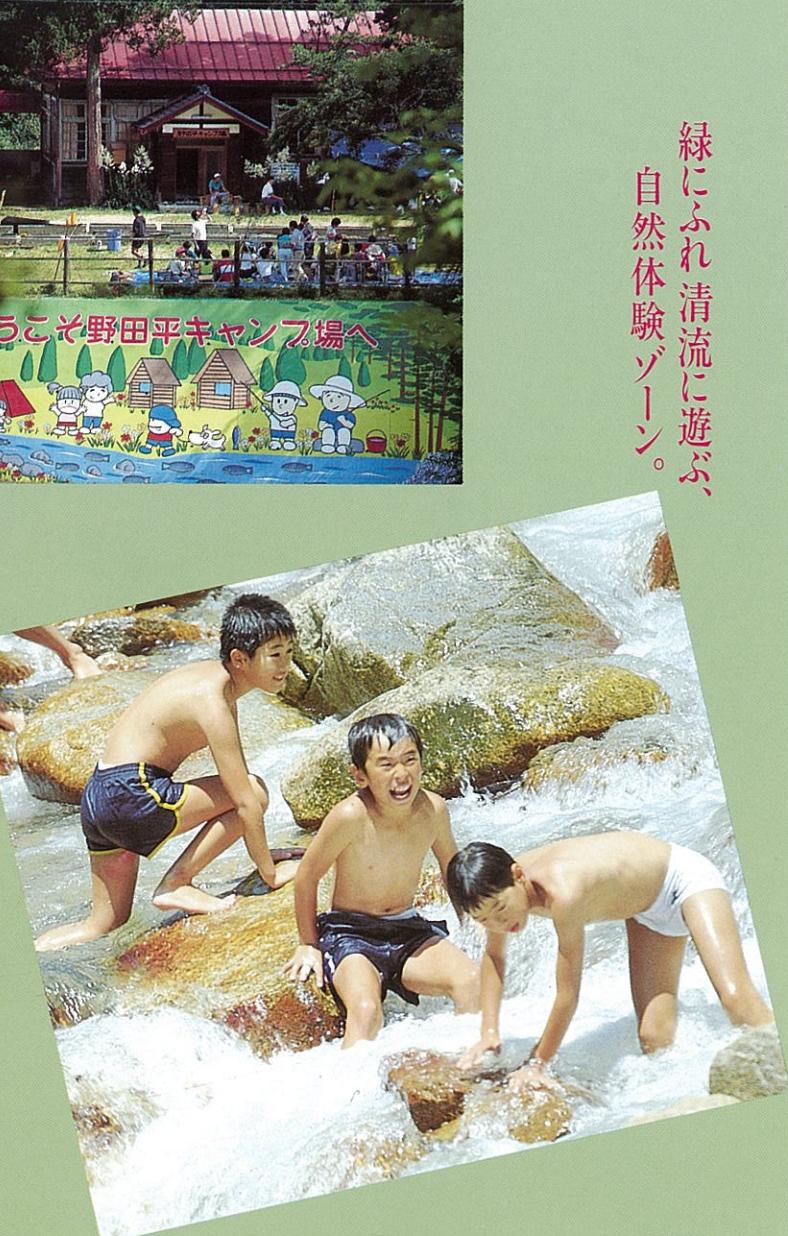
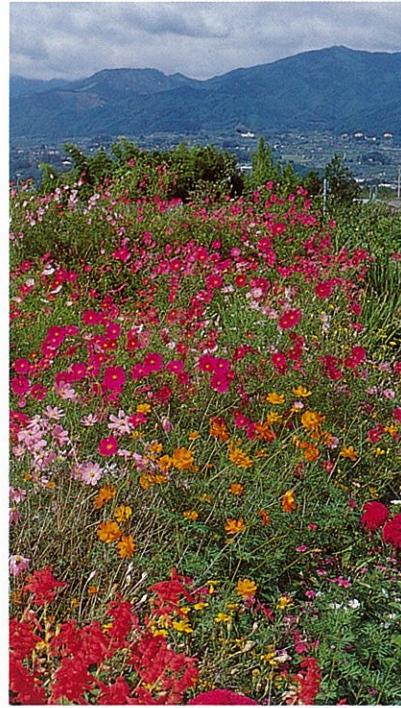
緑あふれる森林、陽光にきらめく清流。

大竜川が永い時をかけて造った日本有数の美しい

間沢川・寺沢川・芦部川・虹川・壬生沢川……。  
くすじもの清流が、伊那山脈から天竜川に注ぎ、  
又丘と別名集へ峡谷をうねりこぼして。青川

ます。起伏に富んだ山々は、赤松林・こぶしの群生林など緑豊かな木々に覆われ、豊かな恵みを子孫へと伝えています。赤松林からは、特産の松茸が産出し、堀越の松茸観光に訪れる観光客で賑わいます。宿泊施設が整った野田平キャンプ場は、石葉の新緑から紅葉へと移ろう四季の美しさが訪れる人を魅了します。

涼剤。この美しい郷土を愛し、かけがえのない自然を守り育む。豊丘村の未来は、この豊かな自然との調和の上に築かれます。





須恵器（歴史民俗資料館内展示）家の上古墳より出土。古墳時代のもの。

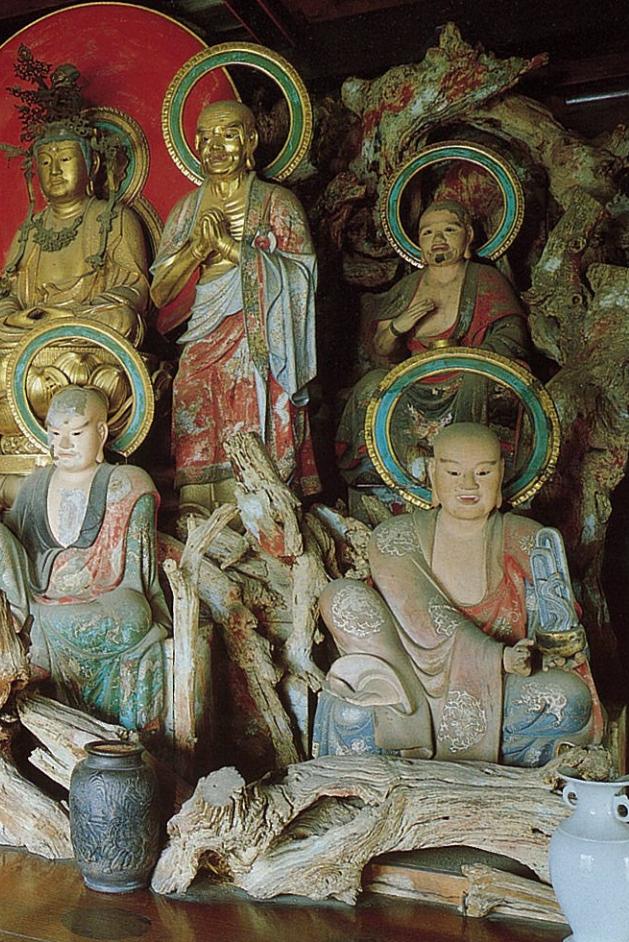


▲パン状炭化物（歴史民俗資料館内展示）伴野原より出土しエゴマの日本最大の炭化物。縄文時代の先祖の食生活をうかがわせる貴重なものです。

▼泉龍院の山門（村指定文化財）伊那谷屈指の大寺。鎌倉時代（1257年）開山。山門は文政元年（1818年）建立。



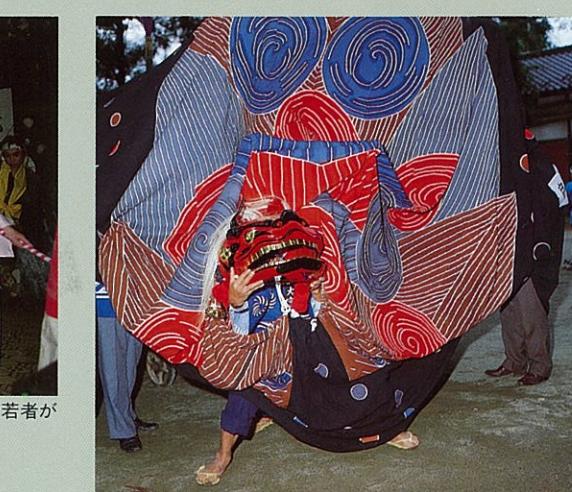
▼十六羅漢 仏の弟子十六人をさし、正法を護持するという十六の羅漢木像  
釈迦三尊・四天王と共に泉龍院山門に安置されています



## 村に伝わる 伝統芸能



▲社丁踊り 河野大宮神社の春季祭典に、成人を迎えた若者が踊る伝統行事。



▲村内神社に伝わる獅子舞  
河野大宮・田村諫訪・林里熊野・佃稚皇・堀越春日、佐原御手形・伴野・小園小野・福島春日・壬生沢諫訪の各神社では、毎年春季又は秋季祭礼で、それぞれ伝統のある獅子舞を奉納しています。

# 歴史探訪



▲河野淨瑠璃人形（歴史民俗資料館内展示）  
人形芝居が江戸時代、文化文政から幕末にかけて河野で盛んに演じられていました。



▲木地師の墓 木地師は、椀類を作っていた山櫻みの流浪の民。野田平旧分校の裏手や萩野などに墓がまつられています。

古代より  
伴野庄の中心地として  
栄えてきた郷土。

遺された幾多の史跡は  
左へといざない、  
はるか時の隔りを越えて

先人の生きた証しを  
物語る。  
今日の豊丘が  
見えてくる。

## 伴野郷の繁榮

弥生時代へ移り、狩猟採集生活から稻作・農耕生活への変化をしめす土器・石鍬・遺跡・壺や平びんなどからも祖先の文化や信仰などの暮らししづらがうかがえます。段丘中段上が生活の場となっていたようです。縄文時代になると土器・石器・住居跡は北平・三島・畠中など村内各地より出土しています。伴野原・田村原段丘より旧石器が出土し、段丘中段以上が生活の場となっていました。繩文時代になると土器・石器・住居跡は北平・三島・畠中など村内各地より出土しています。伴野原から出土した日本最大の「パン状炭化物」からは、縄文時代の祖先がエゴマを食していた等の食糧事情が

推定され、縄文時代の土器や土偶、弥生時代の瓶・弥生壺・古墳時代の土師器・須恵器の壺や平びんなどからも祖先の文化や信仰などのかがわせる貴重なものです。

併して、神稲村をつくり、同9年、両村とも長野県の所管に入りました。その後、明治・大正・昭和を経て、昭和30年4月、両村が合併して豊丘村が誕生しました。

## 豊丘村の誕生

明治のはじめ、虻川以北の地域は伊那郡に、以南の地域は名古屋藩に属しましたが、明治4年、全地域が筑摩県下に編入しました。明治8年、河野は生田と合併しましたが、同14年別れて河野村となりました。一方、田村・林・壬生沢・伴野の地域は、明治8年に合併して豊丘村が誕生しました。

## 支配者の変遷

以後この地は、上西門院の御領地であった平安時代、久堅の地頭・知久氏の統治下に入った鎌倉・室町時代を経て、戦国の乱世となります。知久氏が滅びたあと、武田・織田・豊臣の諸氏の支配を経て、徳川幕府の時代には、河野・伴野・堀越・田村は阿島知久氏の知行所となり、林は幕府の直轄地（天領）となり上伊那飯島代官所の支配に属しました。伴野・壬生沢・福島は、美濃高須藩・松平氏の所領となつて山本村の竹佐代官の支配下に属しました。幕末の混乱期には、村内からも松尾多勢子や片桐長九郎ら勤皇派が輩出し、維新達成に尽力しました。やがて明治維新をむかえ、廃藩置県が施行されます。

◆御手形石 佐原の御手形  
講訪神社にまつられている石には大きな手形があり、建御名方命の手形とも鬼の手形とも伝えられています。



# 豊丘を味わう。

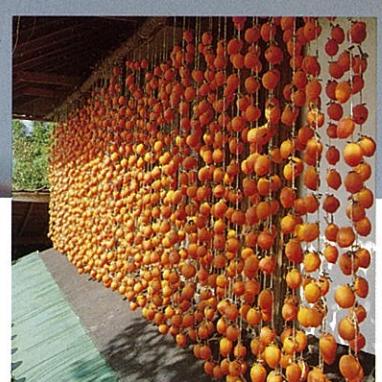
山の幸、まつたけ。



**■堀越まつたけ観光**

秋の味覚の王様、松茸。村の山林の多くを占める赤松林から、良質の松茸が豊富に産出します。手入れされた赤松林にだけ育つ、希少価値の高い松茸は、その独特的な高貴な香りで人を魅了します。採取された松茸の多くは、関東や中京方面に出荷されていますが、採れたての松茸を地元で味わえる「まつたけ観光」も行われています。

秋の松茸シーズン、堀越は観光客でにぎわいます。会場の堀越区民会館を訪れる観光客は、松茸すき焼き・松茸ごはん・焼き松茸など、それはそれは贊沢な秋の味覚を満喫します。まつたけ観光は、堀越地区の全戸で協力して運営され、手作りの素朴なおもてなしが魅力となっています。

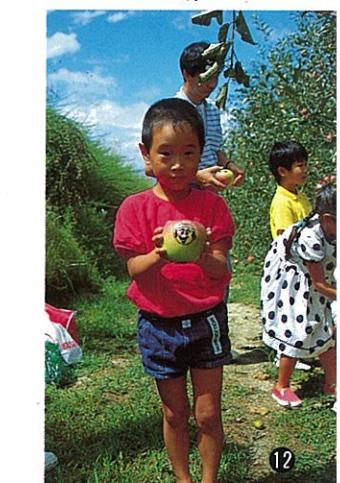


■干柿

干柿の甘さは、砂糖の一・四倍。豊丘村の干柿の美味しさの秘密は、天竜川にあります。

黄金色に色づき、たわわに実った柿の実は、収穫され、皮をむかれ、軒下にすだれのように吊るされます。そして、毎朝たちこめる天竜川の朝霧が、干柿を独特の上品な味わいに仕上げるのです。

豊丘村には、ゆたかな大地の恵みがいっぱい。日本一の河岸段丘に実る桃・リンゴ・梨、そして松茸。ふるさとの秋は、贅沢三昧。



もぎたての味は格別

里の幸、くだもの。

豊丘村はフルーツ・パラダイス。

西向きの河岸段丘で、高原の日光をいっぱい浴びて、果樹園にたわわに実る果実たち。そこには、手塩にかけ丹精こめて育てる人の心があります。そして、日中の高温と涼しい夜の気候の温度差が、果実を色づきも甘味も一級品に育て上げるのです。恵まれた自然のなかで育つた、糖度たっぷりのくだものたち。リンゴ・梨・柿……、どれもみな、ふるさとの味。





# 文化の香り高く。

心ゆたかに、  
文化の香り高く。

教育は、未来を築く人づくり。  
ここに暮らす一人ひとりが、自ら学ぶことの  
喜びを実感し、人生をゆたかに楽しむ。  
文化の香りが村にあふれる。

子供たちの元気いっぱいの笑顔……、平和な暮らしの基本は教育にあります。村では、郷土を愛し、情操を高め自己啓発して、生涯にわたる人間形成のできる教育環境の実現をめざしています。

村の将来を担う子供たちが、健やかにたくましく育つよう、村では教育設備の充実をはかつてきました。小学校2校・中学校1校と3つの保育所があり、豊かな知識とたくましい創造力を育てる教育がなされています。子供たちは、豊かな自然環境を生かした指導の下に、のびのびと学び育っています。

社会教育は、公民館活動を中心様々な文化活動が活発に行われています。公民館と6つの分館を利用する登録グループや高齢者グループは、舞踊・民謡・俳句・短歌・カラオケ・ジャズダンスなど80近くもあり、教養を高め、趣味を楽しみ、自らの人生を充実させています。

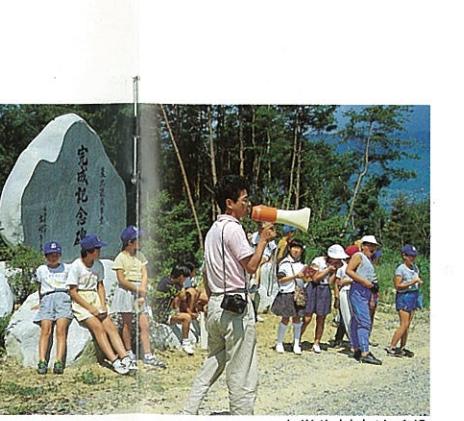
また、公民館学習会も盛んに行われ、講演会や趣味の教室に多くの村民が参加し学んでいます。一人ひとりの村民が自ら学び、ふれあう手づくり文化が育っています。



舞踊クラブ



クラブ作品展

プログティル農場視察  
イギリス・海外研修事業

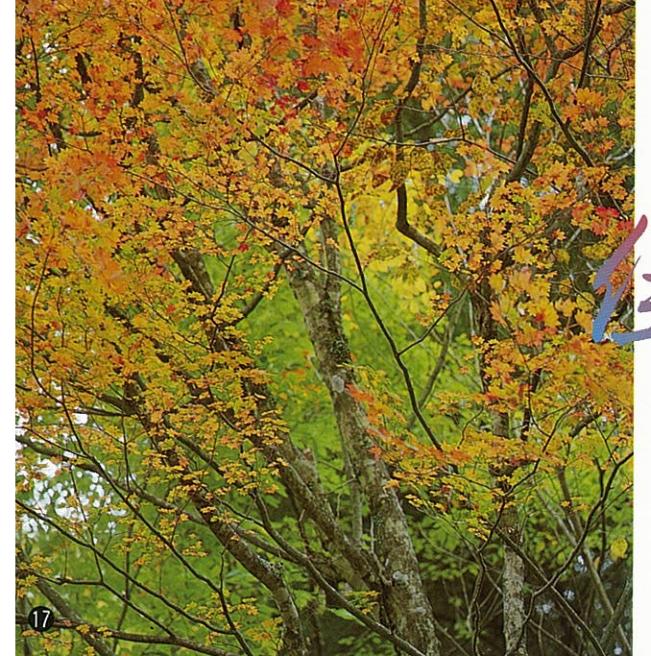
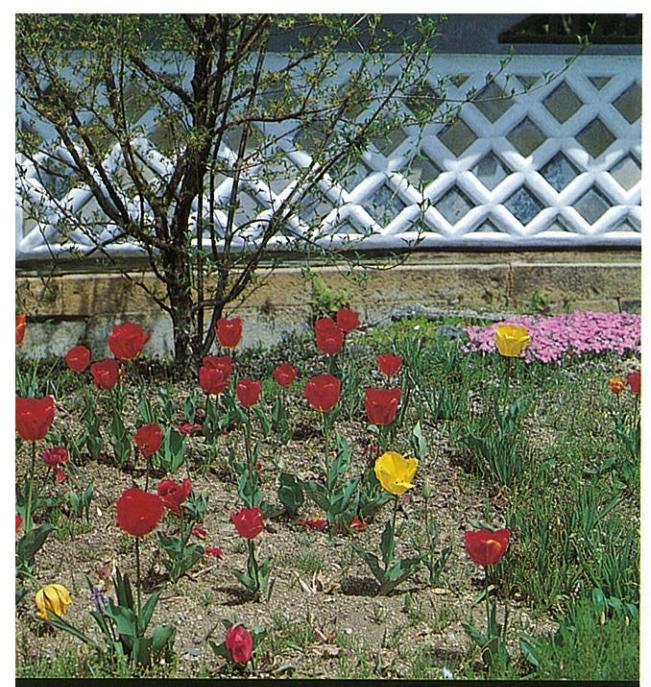
小学生村内めぐり



学校給食(北小学校)



学校農園イモ掘り(南小学校)



# とよおか ガイドマップ



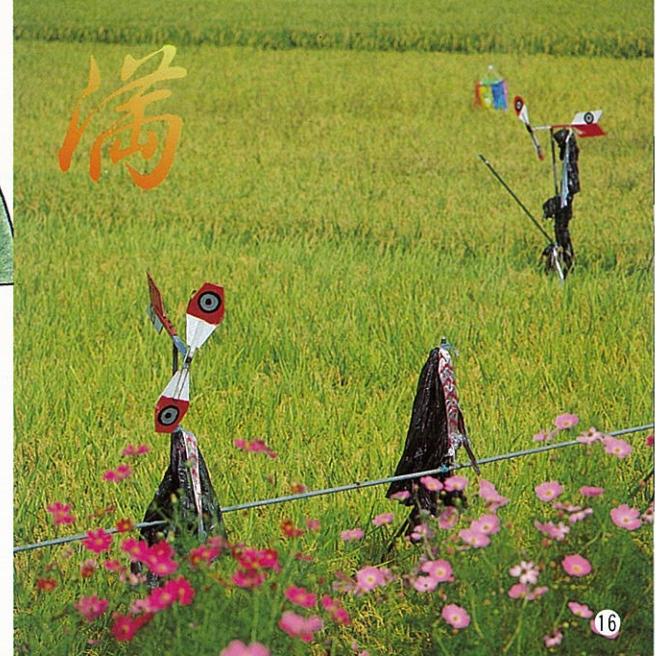
位置と地勢

昭和30年4月、河野村と神稻村が合併し、豊丘村が誕生しました。古来より村は、日本屈指の河岸段丘上に発展しており、豊かな山里に囲まれた平和な村にしたいとの願いから「豊丘村」と命名されました。

豊丘村は長野県下伊那郡の竜東北部に位置し、東は鬼面山・大西山などの伊那山脈を境として大鹿村・上村に続き、南は高閑山を境に喬木村に接しています。西は天竜川を隔てて高森町・松川町に相対し、北は間沢川をはさんで松川町生田に接しています。

東西10.5km、南北7.5kmで総面積は76.85km<sup>2</sup>。面積の約75%を山林が占め、集落の形成は天竜川沿岸の下段地帯と河岸段丘を重ねる中段地帯および山間地域に大別されます。

地質は天竜川の沖積地帯（下段）、洪積台地（中段）、火山灰土（上段）から成っています。伊那山脈に源を発する壬生沢川・虻川・漆沢川・芦部川・寺沢川・市ノ沢川・間沢川の大小 7 つの河川が、段丘を横断して溪谷をつくり、天竜川に注ぎ込んでいます。起伏にとんだ地形は緑豊かで、清流に恵まれた村です。



# ooka

# Watching

とよおか歳時記

- 1月●1日／元旦マラソン
  - 3日／成人式
  - 7日／ほんやり(どんど焼き)

- 4月●上・中旬／村内神社 春季祭典  
 ●中旬／壮丁おどり  
 ●中旬／村花 こぶしを見る会

- 5月●初旬～中旬／泉龍院の三色藤 花見

- 7月 ●下旬／野田平キャンプ場まつり

- ### ●15日／分館対抗球技大会

- 9月・下旬～10月下旬／堀越圭一

- 10月 ● 上旬／村内神社 秋季祭典

- 10日／歌伝火云

- 卷一 初句 / 全館運動會

村の人づくり事業「ムラムラ村塾」の開講式が平成3年11月7日、東洋大学セミナーハウスで行われた。この塾は、若者が自主的に村の文化や政治について勉強し、地域づくりを語り合い、交流を深めることを目的とした講座。人材教育の一貫として村が結成を呼びかけた初の試みで、参加した塾生は将来毎月一回「村心にした若者29人、「村内めぐり」などの学習の夢を語る会」、「村の歴史や政会が行われる。「同世代の人と交流治について知りたい」、「同世代の人と交流を深めたい」などと抱負を語っていた。



30代の若者が村づくりを学習  
ムラムラ村塾開講

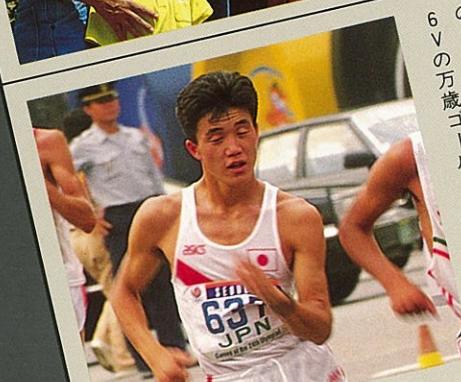
オーナーの味楽しむ  
もぎたての味楽しむ



オーナーもぎたての味樂しま  
りんご園地のオーナー収穫祭が平  
成3年8月31日、9月8日の両日行われ  
た。4年目を迎えた「りんごオーナー制  
度」の契約本数は約七百本。関東・中  
方面から約千七百人のオーナー達は、も  
ぎたての味を楽しむ大盛況で  
満喫して頗なじみていた。マスツ  
リーンゴをその場で味わい、りんご狩  
りで訪れた。オーナーもぎたての味  
もぎたての味樂しま

「吉ナへの挑戦」(星丘村大柏)は、

ふるさとで心の充電  
国体6連覇の万歳ゴー！  
第46回石川国体  
平成3年10月16日、出場した酒井選手は、や



力走する酒井選手。バルセロナは近い。



とよおがまつり大盛況  
イベントいっぽいの会場  
夢いっぽいの会場  
（役場・絵）

第5回とよおかまつりは、周辺と農協もも・りんご選果場で、平成3年11月23日・24日の両日にさやかに開催された。文化祭・商工祭農協祭それぞれ各会場で工夫を凝らして展示了や催しが行われ、おだやかな天候に恵まれた連休ともあって、各会場は多くの人で賑わった。

この人で賑わった福祉センター周辺となつた福祉センター文化祭は、主会場となつた発表が行われて各クラブの作品展示・発表、公民館各クラブが踊り、小学生の音楽発表、詩吟・三味線などを披露し盛んな拍手をあびていた。発表会は、小学生の音楽発表、詩吟・三味線などを披露し盛んな拍手をあびていた。発表会は、小学生の音楽発表、詩吟・三味線などを披露し盛んな拍手をあびていた。ヤングバーナーの前には行列ができるほど盛況ぶりだった。

会のお好み焼きが人気だった。花馬車観覧などの盛況ぶりだった。花馬車観覧の綱引し、一つ一戦だった。

商工祭は、福祉センター周辺を行われた農協祭多彩な催し物が開催された。花馬車観覧やおたのしみ会の大出展販売など大盛況で、コンピュータビングゲームは新しさと大景品の魅力も手伝って観客を動員し、まつりを盛り上げた。選果場で行われた農協祭は、各部会・農協所属団体を中心に行われた。農機具・自動車等が展示され、連日見物客を集め、りんご選果場で工夫を凝らして展示了や催しが行われ、おだやかな天候に恵まれた連休ともあって、各会場は多くの人で賑わった。

この人で賑わった福祉センター文化祭は、主会場となつた発表が行われて各クラブの作品展示・発表、公民館各クラブが踊り、小学生の音楽発表、詩吟・三味線などを披露し盛んな拍手をあびていた。発表会は、小学生の音楽発表、詩吟・三味線などを披露し盛んな拍手をあびていた。ヤングバーナーの前には行列ができるほど盛況ぶりだった。花馬車観覧などの盛況ぶりだった。花馬車観覧の綱引し、一つ一戦だった。

商工祭は、福祉センター周辺を行われた農協祭多彩な催し物が開催された。花馬車観覧やおたのしみ会の大出展販売など大盛況で、コンピュータビングゲームは新しさと大景品の魅力も手伝って観客を動員し、まつりを盛り上げた。選果場で行われた農協祭は、各部会・農協所属団体を中心に行われた。農機具・自動車等が展示され、連日見物客を集め、りんご選果場で工夫を凝らして展示了や催しが行われ、おだやかな天候に恵まれた連休ともあって、各会場は多くの人で賑わった。

の綱引大会は、男女9チームずつが参加し、つめかけた大勢の観客の声援を受け、一戦一戦力の入った試合が繰り広げられました。



うまい、大好評のヤングパワーズの出店

広がるふれ合い、つながる心。  
活力みなぎる村のでき事。

恵まれた自然風土に、高速道路を身近にひかえた  
地の利を活かし、産業が発展してきました。  
今、産業を受け継いだ若き経営者たちが、  
地域経済の一翼を担い活躍しています。  
彼らの語る、明日へのチャレンジ魂。

「バラは、豊丘の春日だ」と  
言われるバラを育てたい。

農業を継いだのは、長男ということもあって、  
自分の代で終わらしからいないという使命感  
でしょうか。村の20代の農業仲間6人で「若農  
会」を作つて交流や活動をしていますが、農業を  
継ぐ若い人が増えています。

家が、温室で野菜を作っていたので、花をやろ  
うとバラの勉強を神奈川で2年して、ここで自  
分でやり始めて3年です。大型市場に対応でき  
る経営をしたいと考えています。

全国の人に  
「バラは、豊丘の春日だ」と  
言われるバラを育てたい。

河野温室組合のガラス温室でバラの栽培に取り組ん  
でいる若者です。

農業を継いだのは、長男ということもあって、  
自分の代で終わらしからいないという使命感  
でしょうか。村の20代の農業仲間6人で「若農  
会」を作つて交流や活動をしていますが、農業を  
継ぐ若い人が増えています。

家が、温室で野菜を作っていたので、花をやろ  
うとバラの勉強を神奈川で2年して、ここで自  
分でやり始めて3年です。大型市場に対応でき  
る経営をしたいと考えています。

全国の人に「バラは、豊丘の春日だ」と言われるよ  
うになるのが夢です。

## 特集

## 若い力で村づくり

## 農業



春日健司さん  
(23歳・河野)

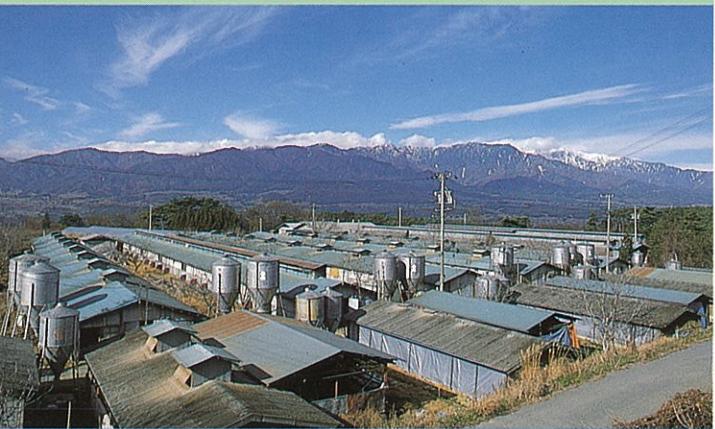
## 多角的で柔軟な農業経営

豊かな丘という村の名が象徴する肥沃な河岸段丘に、農業を中心とした産業が発展してきました。村では早くから農業基盤の整備、果樹・畜産団地の造成などに力を注ぎ、水稻・養蚕中心型農業から果樹と畜産を主力とした複合経営に移行してきました。

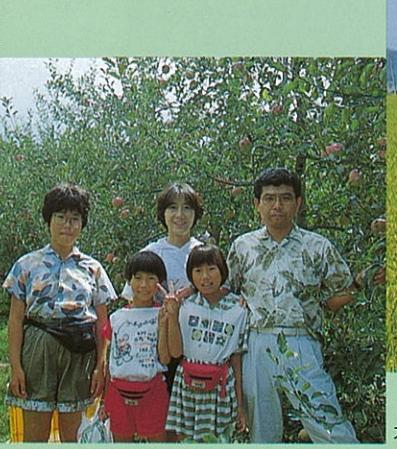
農産物は果樹と畜産を軸に、お米やハウスでの野菜・花き栽培など多品目が生産されています。果樹の主要品目は、リンゴ・梨・梅・柿で、果樹園地が整備され、基幹産業として伸展しています。特にリンゴは品質・味とともに日本一のリンゴ村として、産地形成が進んでいます。

近年、新鮮な果物を全国に宅配する「くだものふるさと便」の導入、長沢リンゴ園地のリンゴの木オーナー制度やリンゴ狩りの観光農園など、新しい農業への積極的な取り組みがなされ期待されます。

農業振興をはかる各種事業により、生産基盤整備や機械化による省力化をすすめ、近代化と多角的な複合経営により、所得水準の高い農業をめざします。若者が、夢と希望をもって働ける魅力的な農業環境づくりと、後継者の育成に力を注いでいます。



リンゴ選果場



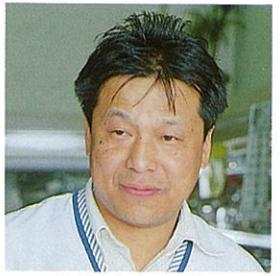
長沢リンゴ園地



オーナー収穫祭

上、養豚園地  
下、整備された田園





下平喜隆さん（37歳・神稻  
スーパーしもだいら 社長）

神稻の県道沿いにある  
「スーパーしもだいら」を経営。

**時代を先取り、  
変化に対応した経営展開を。**

店は、私で3代目です。大正11年頃、下駄屋を祖父が始めた、父の代では魚屋でした。両親が飯も食わずに働く姿を見て育ちましたから、その影響は大きいです。

後を継いで魚屋をやってきましたが、4年前にこのスーパーをオープンしました。どうせ作るならと、サンタモニカや湘南海岸にも似合うイメージの建物にしました。駐車場があつて明るく買い物がしやすい事、そして商品力。鮮度・品揃え・価格・接客サービス等、店全体がある程度のレベルでないと売上も伸びません。自分の感性より、時代の移り変わりの方が早いから、変化に対応しないと取り残されてしまいます。これから、竜東一貫道路が完成すると車の流れが移って行くし、共同店舗も近隣にできます。こうした変化に対応するには蓄積してきたものを生かして、他業種への展開も必要だと考えています。また、地域全体の発展を考えいくことも必要です。フロンティア俱楽部を結成して、村づくりに仲間たちと一緒に組んでいます。



商業の中心地・田村地区

## 商業

地域密着型の商業は、小規模ながら着実な歩みを続けてきました。近年、自動車の普及や近隣への大型店の進出など、大きな商業環境の変化をむかえています。

村内の商店の多くは、地域住民を対象として経営する自家営業店舗です。地域の人々とのゆきかなコミュニケーションにより、消費者のニーズに対応する個性的な店づくりがされています。多様化する消費者のニーズに対応する共同店舗が、地元店主らにより田村商店街にオープンするなど、商業活性化への取り組みが活発になっています。商業をめぐる時代の変化をとらえ、後継者の育成、商圏の拡大へと努力が続けられています。



特集  
若い力で村づくり

# 地の利を 生かした産業振興

道ができる。工場ができる。  
産業が、豊かな暮らしを支える。  
その主役は、ここに働く私たち。

果樹園ができる。

豊丘村の工業は、豊かな自然・技術力・交通ネットワークすべての面でバランスのとれた産業条件に恵まれ、着実な発展を続けてきました。長い歴史のある既存企業には、最新設備が導入され、木工・織維産業・漬物や半生菓子などの食品業が盛んです。

天竜川沿いには、精密・電子工業を中心とした先端技術産業の基地である伴野工業団地・柿外土工業団地があり、企業誘致により安定した雇用の場を提供しています。就業機会の拡大により、若者の地元定着を促進しています。

近年の工業の伸びは、中央自動車道開通により大都市圏との時間的距離が著しく短縮されたことによるところも大きく、三遠南信高速道路の開通をひかえ、伊那テクノパーク構想の推進により、さらなる発展が期待されます。

## 工業



丸山昭臣さん（42歳・神稻）  
有限会社マルヤマ 取締役社長

柿外土工業団地にある精密部品の製造組立を行っている有限会社マルヤマを経営。

**課題は受け継いだものをいかに伸ばすか。**

父の後を継ぎ社長になって4年目。学校を卒業し岡谷市の取引先の会社で4年間の実習後、ずっとここでやってきました。都会や他の仕事にあこがれを持った時期もありましたが、父の後を継ごうと地元へ帰って頑張っていました。

豊丘村は、工業団地の造成や下水道・竜東一貫道路など産業基盤が充実し、すばらしい村になります。父の作ったものをいかに伸ばすかが私の仕事。これからの時代の流れに遅れず対応できる企業づくりを考え、働く人にとって魅力があり、技術力のある会社をめざしています。

村の経営者協議会やフロンティア俱楽部で異業種の方々との毎月の集まりに参加して、個々の悩みや、村の活性化について話し合っています。豊丘ってたいした所じゃないと思っていましたが、会社を経営するようになって特に「自分たちが村を作っていくんだ」とわかりました。村の様々な事に关心を持って、希望の持てる村づくりに貢献したいと考えています。



先端産業の拠点・伴野工業団地

# 思いやりの心 希望のある村

健  
康  
福  
祉

給食サービス 一戸一戸にお届けします。



福祉

入浴サービス 溫かいヘルパーの介護。



健康で生きがいのある生活をおくることは、私たちみんなの願い。

幸せは、すべての人でわかつ合つもの。  
みんなで助け合い築く、ボランティア。

健康は、人間の一番の財産。村民だれもが、健康で生きがいのある生活を送れるよう、村では福祉環境の整備と住民の健康保持に取り組んでいます。

健康教室・公民館学習会などをを行い健康への意識を高め、食生活をはじめとする生活改善と健康増進につとめています。また、定期的な胃検診・成人病検診を実施し、早期発見・早期治療を促しています。

村の体育協会には、ソフトボール・テニス・剣道など多くの競技団体があり、高齢者グループによるゲートボールも各地区で盛んになって、積極的にスポーツを楽しむ人たちが増えています。「笑顔と健康の村づくり」事業が平成2年度から実施され、パーゴルフ場・運動公園・サイクリングロードの建設が進められています。

住みよい福祉環境づくりをめざす「福祉のボランティア事業」も平成3年度より実施され、社会福祉協議会を中心に住民の協力のもと福祉啓発事業に取り組んでいます。「福祉懇談会」でも福祉教育に重点をおいた活動がなされています。駅伝大会 心身ともに健やかに。



駅伝大会 心身ともに健やかに。



健康教室 健康はバランスのとれた食事から。



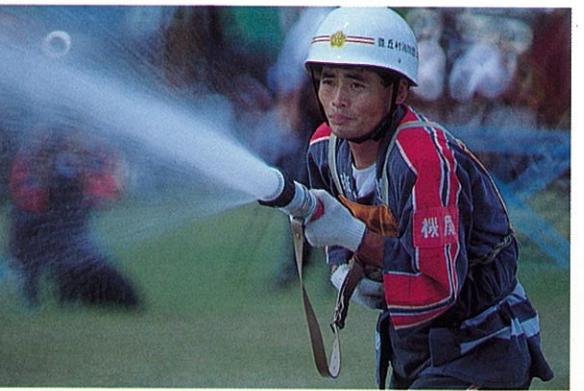
共同作業所こぶし園



敬老会 お年寄りは村の宝。毎年9月に開催。



給食サービス 一戸一戸にお届けします。



防災のたゆまぬ努力



建設の進む竜東一貫道路

林原の住宅造成地

下水道終末処理場



語り合おう村の未来

緑豊かな、明るく住みよい村づくりをめざして、  
村では様々な施策に取り組んでいます。豊かに暮らすためには、安定した経済・快適な生活環境の整備が必須条件です。現在、緑と清流の里・豊丘の清らかな水を守るため、終末処理場・合併処理浄化槽などの下水道整備が進行しています。  
また、広域農道・竜東一貫道路など交通網の工事も着々と進み、生活基盤・産業基盤の充実がはかられています。

また、安心して暮らせる災害に強い村づくりをめざし、この村の気候・風土を充分考慮した治水・治山対策を行い、非常災害に備えて防災設備を充実させ、消防団の運営にも力を注いでいます。  
地震灾害防災訓練などをを行い、子どもからお年寄

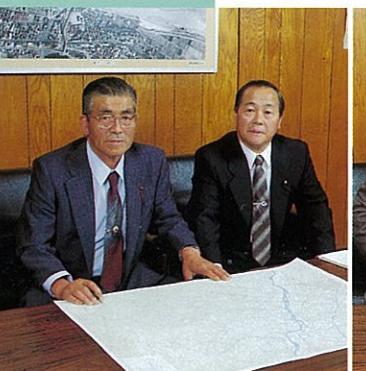
りまで住民の防災意識を高めています。

車社会といわれる今日、わが村も例外ではなく交通事故から村民の命を守るため、交通安全指導を徹底させ、安全意識の向上をはかつて、交通事故の撲滅に取り組んでいます。

村内の施設や設備を造るハード事業とあわせて、人づくりというソフト事業も見過すわけにはゆきません。あいさつ運動や人の和を重んじる人間関係が地域の連帯感を深め、住民間にふれあいとうるおいのあるコミュニティを可能にします。  
なにげないことをおろそかにしない、きめこまか的な行政の施策が、人を生かし、人をつくり、住みよい豊丘を実現します。

# 住みよい 村づくりの ために。

おじいちゃんも、赤ちゃんも、  
家族みんなが素敵な笑顔。  
心ゆたかに、安心して暮らせる毎日。  
住みよい村づくりをめざして。



議長 副議長



助役 村長 収入役



豊かな丘の村、とよおか。  
子供たちの  
元気いっぱいの笑い顔。  
真剣な眼差し、  
得意気な自慢顔。  
ちょっと照れてる  
おばあちゃんの微笑み…。  
幸せな笑顔が村にあふれる。  
「村民憲章」の  
心を大切に  
さらに、  
豊かな明日をめざして…。





## 豊丘村勢要覧

発行 ● 長野県下伊那郡豊丘村